PRESS RELEASE

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

2024 年 12 月 11 日

2024 年度 中間連結決算

旺盛なインバウンド需要や新商業施設の売上好調により増収増益

関西エアポート株式会社は、2024 年 4 月から 2024 年 9 月までの第 10 期会計年度中間連結決算において、営業収益は 1,180 億円、営業利益は 306 億円、経常利益は 251 億円、当期純利益*は 169 億円を計上しました。

当期は、昨年 12 月にオープンした関西国際空港第 1 ターミナルビルの新商業施設の売上好調に加え、旺盛なインバウンド需要の増加を効果的に取り込んだ結果、前年度と比較すると、営業収益は 38%の増加、営業利益では前期比 176 億円の増益、経常損益は 173 億円の増益、当期純利益では 117 億円の増益となりました。中間期としては 2019 年度に次いで過去 2 番目の水準となりました。

（連結損益計算書）

（単位：億円）

	2023.4-2023.9	2024.4-2024.9	差額	%
営業収益	854	1,180	326	+38%
外部費用	(504)	(651)	(147)	+29%
EBITDA	350	528	178	+51%
減価償却費	(220)	(222)	(2)	+1%
営業利益	130	306	176	+135%
経常利益	78	251	173	+221%
当期純利益*	52	169	117	+226%

* 「当期純利益」は、「当社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

（航空需要の状況）

国際線旅客便発着回数および国際線旅客数は、過去最高であった 2019 年度に次いで過去 2 番目となりました。その結果、3 空港合わせた航空機発着回数は 18.2 万回（前年度比+9%）、航空旅客数は 2,470 万人（前年度比+18%）となりました。特に国際線旅客便については、外国人旅客数が過去最高水準まで増加し、2023 年 12 月以降、中国方面の航空機発着回数および航空旅客数も右肩上がりに推移しています。国内線については、航空機発着回数、旅客数ともに前年度並みとなりました。

	2023.4-2023.9	2024.4-2024.9	差額	%
航空機発着回数（万回）	16.7	18.2	1.5	+9%
関西国際空港	8.0	9.7	1.7	+21%
大阪国際空港	6.9	6.9	(0.1)	(1%)
神戸空港	1.7	1.6	(0.1)	(5%)
航空旅客数（万人）	2,098	2,470	372	+18%
関西国際空港	1,186	1,534	348	+29%
大阪国際空港	739	753	14	+2%
神戸空港	173	182	9	+5%

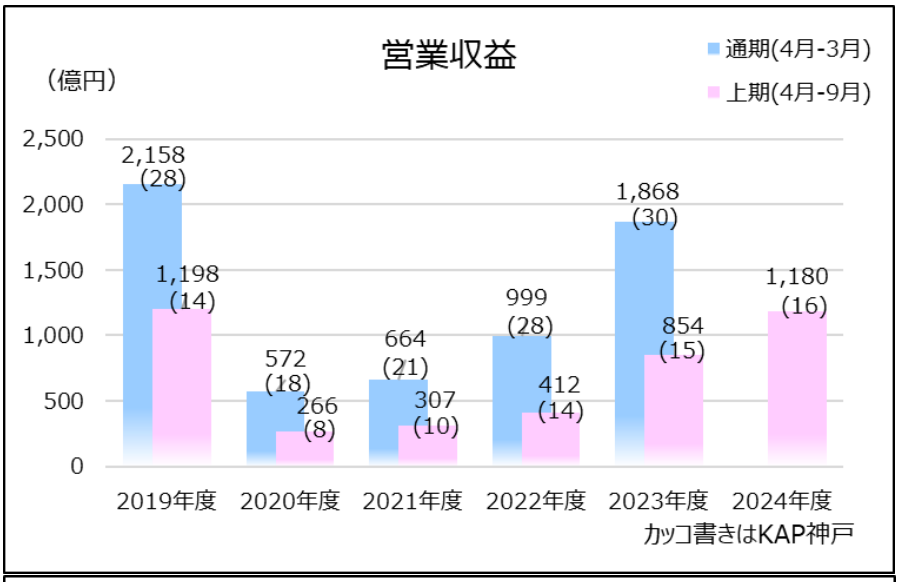
（連結貸借対照表）

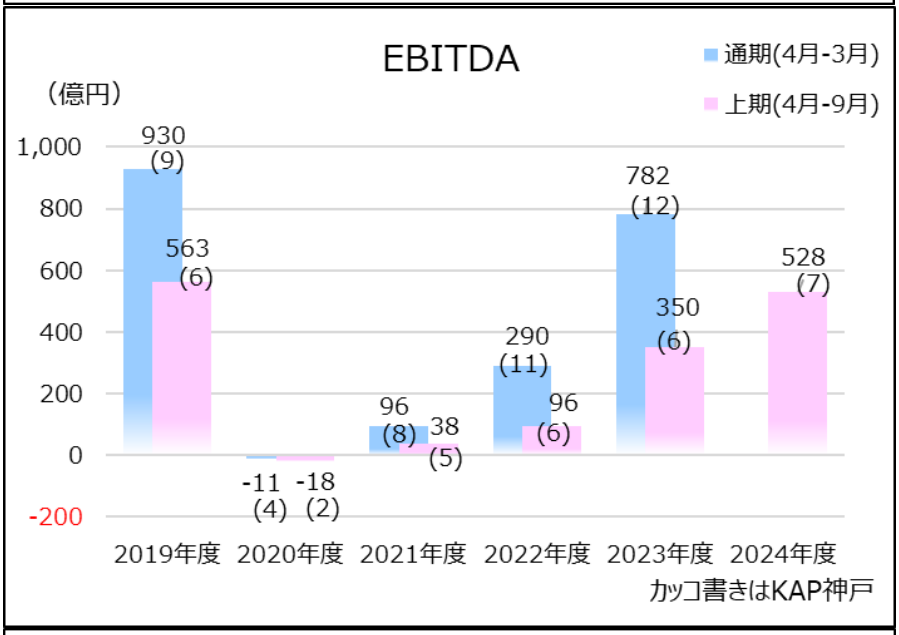
2024 年 9 月 30 日現在における財政状態は、前期末と比べると公共施設等運営権の償却により資産合計は減少し、1 兆 5,768 億円となりました。また、運営権対価の支払いにより、公共施設等運営権に係る負債が減少した結果、負債合計は 1 兆 5,170 億円となりました。

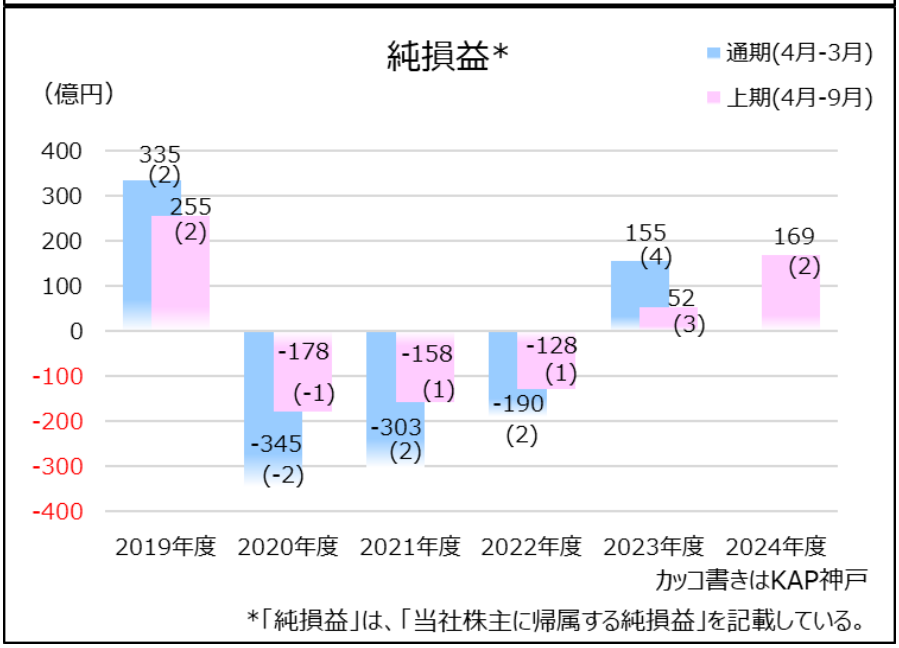
（単位：億円）

	2024.3.31 現在	2024.9.30 現在	増減
流動資産	1,122	1,294	172
固定資産	14,731	14,475	(257)
資産合計	15,853	15,768	(85)
流動負債	642	643	1
固定負債	14,783	14,527	(256)
負債合計	15,425	15,170	(255)
株主資本	401	570	169
その他の包括利益累計額	7	8	1
非支配株主持分	21	21	1
純資産合計	428	599	170
負債･純資産合計	15,853	15,768	(85)

（参考資料）連結決算の推移







Thank you, Anniversary

【報道関係の方からのお問い合わせ先】
関西エアポート株式会社
グループコーポレートコミュニケーション部
パブリックリレーション
Tel：072-455-2201

連結損益計算書

〔自 2024 年 4 月 1 日
至 2024 年 9 月 30 日〕

（単位: 百万円）

営業収益		**117,963**
営業原価		**74,199**
営業総利益		43,763
販売費及び一般管理費		**13,145**
営業利益		**30,617**
営業外収益		**475**
受取利息及び配当金	242	
持分法による投資利益	109	
その他の営業外収益	123	
営業外費用		**5,971**
支払利息	5,942	
支払手数料	22	
その他の営業外費用	6	
経常利益		**25,121**
特別利益		**73**
固定資産売却益	0	
補助金収入	73	
特別損失		**662**
固定資産除却損	15	
固定資産圧縮損	71	
更新投資に伴う撤去費用	259	
退職給付制度終了損	316	
税金等調整前中間純利益		**24,533**
法人税、住民税及び事業税	1,133	
法人税等調整額	6,423	
中間純利益		**16,975**
非支配株主に帰属する中間純利益		73
親会社株主に帰属する中間純利益		**16,902**

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。）

連結貸借対照表

〔2024年9月30日現在〕

（単位： 百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	**129,386**	**流動負債**	**64,294**
現金及び預金	96,241	買掛金	4,725
売掛金	10,348	未払金	9,068
契約資産	406	未払費用	5,157
商品	7,213	1年内返済予定の長期借入金	4,264
原材料及び貯蔵品	1,373	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,599
1年内回収予定の差入保証金	2,233	未払法人税等	1,881
未収金	6,210	契約負債	2,929
その他	5,359	賞与引当金	1,829
貸倒引当金	△0	ポイント引当金	41
		その他	3,795
固定資産	**1,447,455**	**固定負債**	**1,452,695**
有形固定資産	**29,891**	社債	4,860
建物及び構築物	3,886	長期借入金	203,267
機械装置及び運搬具	14,576	公共施設等運営権に係る負債	1,176,056
工具器具備品	4,336	特別修繕引当金	48,904
土地	578	退職給付に係る負債	7,349
建設仮勘定	6,469	その他	12,257
その他	44		
無形固定資産	**1,296,613**		
公共施設等運営権	1,224,880		
更新投資に係る資産	69,877	**負債合計**	**1,516,990**
その他	1,854	**純資産の部**	
投資その他の資産	**120,950**	**株主資本**	**56,963**
投資有価証券	1,140	資本金	25,000
差入保証金	85,030	資本剰余金	25,000
繰延税金資産	33,568	利益剰余金	6,963
その他	1,217	**その他の包括利益累計額**	**762**
貸倒引当金	△7	繰延ヘッジ損益	762
		非支配株主持分	**2,126**
		純資産合計	**59,851**
資産合計	**1,576,842**	**負債・純資産合計**	**1,576,842**

（記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。）

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ“として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% [1]
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長　CEO　　山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO　ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		

ORIX

オリックスグループについて

1964 年に設立されたオリックスグループは、法人金融、産業/ICT 機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など、多角的に事業を展開する企業グループです。現在は、世界約 30 カ国・地域において、約 35,000 人の役職員により事業を展開しています。

オリックスグループの社会における存在意義は、「世の中がよりよい方向に進むきっかけとなる、“未来をひらくインパクト”をもたらすこと」です。この Purpose を軸に、グローバルで一体となり、社会に貢献してまいります。

詳細は https://www.orix.co.jp/grp/ をご覧ください。

VINCI AIRPORTS

世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、13 か国において 70 以上の空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

[1] 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニックホールディングス株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱ＵＦＪ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

2024年度 中間連結決算

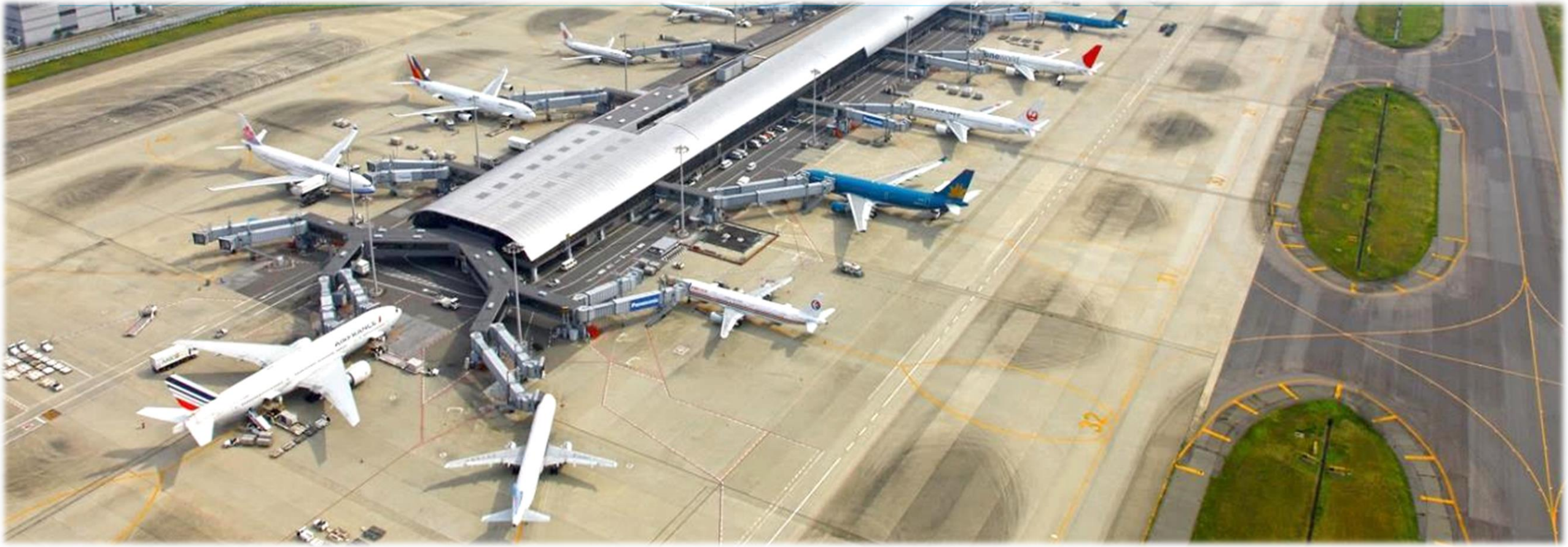
2024.12.11

Shaping a New Journey

KANSAI AIRPORTS

アジェンダ

- 2024年度　中間連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2024年度上期の主な取り組み
- 質疑応答



2024年度　中間連結決算の概要

旺盛なインバウンド需要や新商業施設の売上好調により増収増益

1．国際航空需要がコロナ禍前の水準まで回復。外国人旅客数は開港以来過去最高

2．旺盛なインバウンド需要や新商業施設のオープンにより、非航空系営業収益は過去最高

3．この結果、中間期の当期純利益としては、過去２番目の水準

【単位：億円】

	2023.4-2023.9	2024.4-2024.9	増減	%
営業収益	854	**1,180**	+326	+38%
EBITDA	350	**528**	+178	+51%
営業利益	130	**306**	+176	+135%
経常利益	78	**251**	+173	+221%
当期純利益*	52	**169**	+117	+226%

*「当期純利益」は、「当社株主に帰属する当期純利益」を記載

経営成績

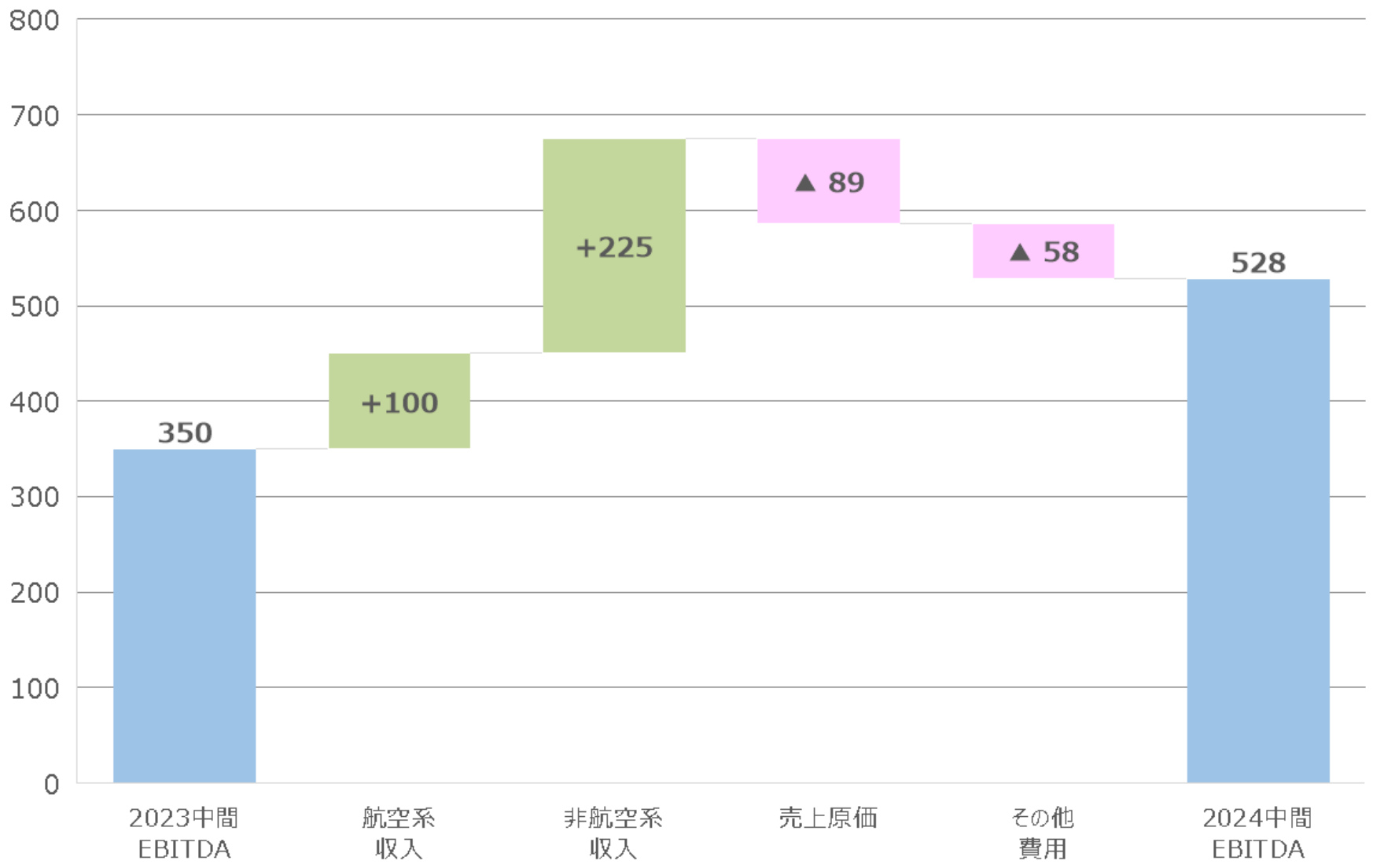
【単位：億円】

	2023.4-2023.9	2024.4-2024.9	差額	%
営業収益	854	1,180	326	38%
航空系	373	473	100	+27%
非航空系	481	706	225	+47%
営業費用（減価償却費除く）	(504)	(651)	(147)	+29%
EBITDA	350	528	178	+51%
減価償却費	(220)	(222)	(2)	+1%
営業利益	130	306	176	+135%
営業外損益	(52)	(55)	(3)	+6%
経常利益	78	251	173	+221%
特別損益	(4)	(6)	(2)	+64%
法人税等、非支配株主帰属損益	(23)	(76)	(53)	+232%
当期純利益*	52	169	117	+226%

*「当期純利益」は、「当社株主に帰属する当期純利益」を記載

EBITDA（前年比）

【単位：億円】



バランスシート

【単位：億円】

公共施設等
運営権等

公共施設等
運営権に係る負債等

	2024.3.31現在	2024.9.30現在	増減
流動資産	1,122	1,294	172
うち　現金及び預金	818	962	144
固定資産	14,731	14,475	(257)
資産合計	15,853	15,768	(85)
流動負債	642	643	1
固定負債	14,783	14,527	(256)
負債合計	15,425	15,170	(255)
株主資本	401	570	169
その他の包括利益累計額	7	8	1
非支配株主持分	21	21	1
純資産合計	428	599	170
負債・純資産合計	15,853	15,768	(85)
【参考】			
有利子負債残高	2,242	2,124	(118)

営業収益分析

航空系：外国人旅客数が過去最高を記録　国際線需要を強く牽引

- **3空港合計の旅客数は2,470万人（2019年度比93%）、発着回数は18.2万回（2019年度比95%）となり、コロナ禍前と同水準。**

- **国際線旅客数・発着回数**
  インバウンドの旺盛な旅行需要を背景に、国際線旅客便の増便がより一層進んだ。
  関西国際空港における国際線の発着回数は、前年度から32%増。国際線旅客数のうち、外国人旅客数は947万人となり、年度上半期としては、開港以来、過去最高を記録した。

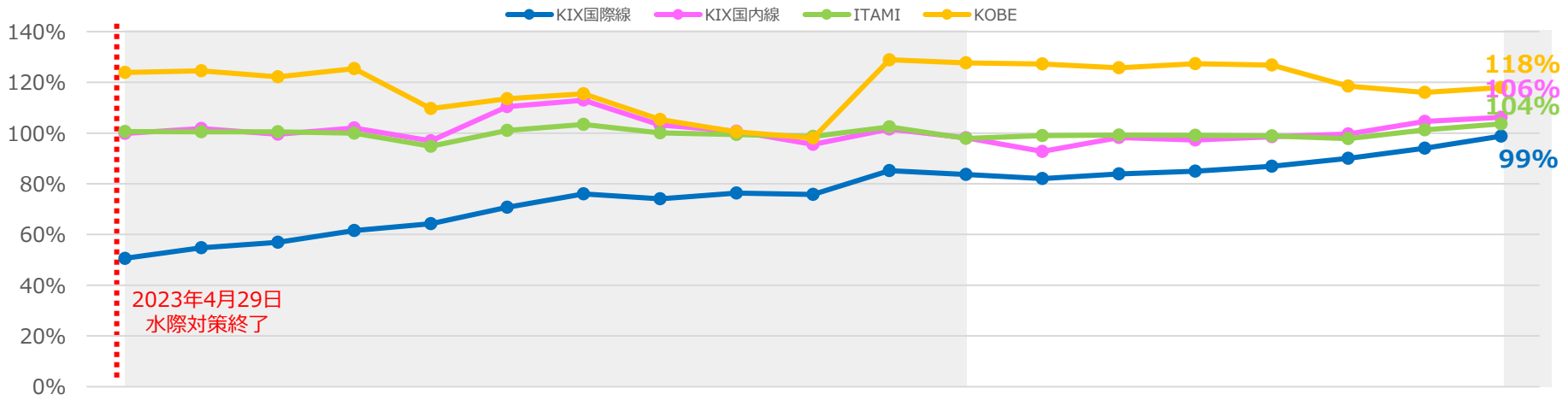
- **3空港国内線旅客数・発着回数**
  3空港合計の国内線旅客便の発着回数は、年度上半期として過去最高を記録した前年度をやや下回る結果となったものの、神戸空港における旅客数は182万人と、年度上半期として過去最高*を記録した。

	2023年度上期	2024年度上期	前年度比	2019年度上期比
発着回数（万回）	**16.7**	**18.2**	**+9%**	**-5%**
関西国際空港（国際線）	5.5	7.3	+32%	-10%
関西国際空港（国内線）	2.5	2.4	-3%	-4%
大阪国際空港（国内線）	6.9	6.9	-1%	-2%
神戸空港（国内線）	1.7	1.6	-5%	+5%
航空旅客数（万人）	**2,098**	**2,470**	**+18%**	**-7%**
関西国際空港	1,186	1,534	+29%	-6%
国際線	840	1,196	+42%	-6%
日本人旅客	173	242	+40%	-39%
外国人旅客	659	947	+44%	+9%
国内線	346	339	-2%	-5%
大阪国際空港	739	753	+2%	-10%
神戸空港	173	182	+5%	+7%
3空港国内線（万人）	1,258	1,275	+1%	-7%

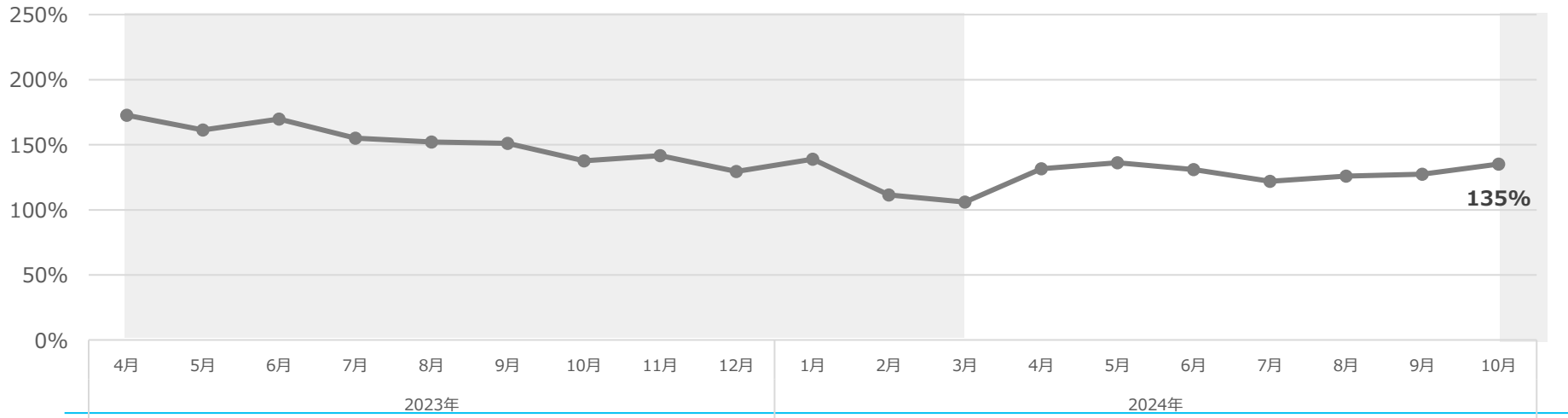
* 2019年度より1日の最大発着回数が60回から80回へ拡大

航空系：関西3空港 発着回数（2019年度比）

旅客便　2023年4月ー2024年10月



国際線貨物便 2023年4月ー2024年10月

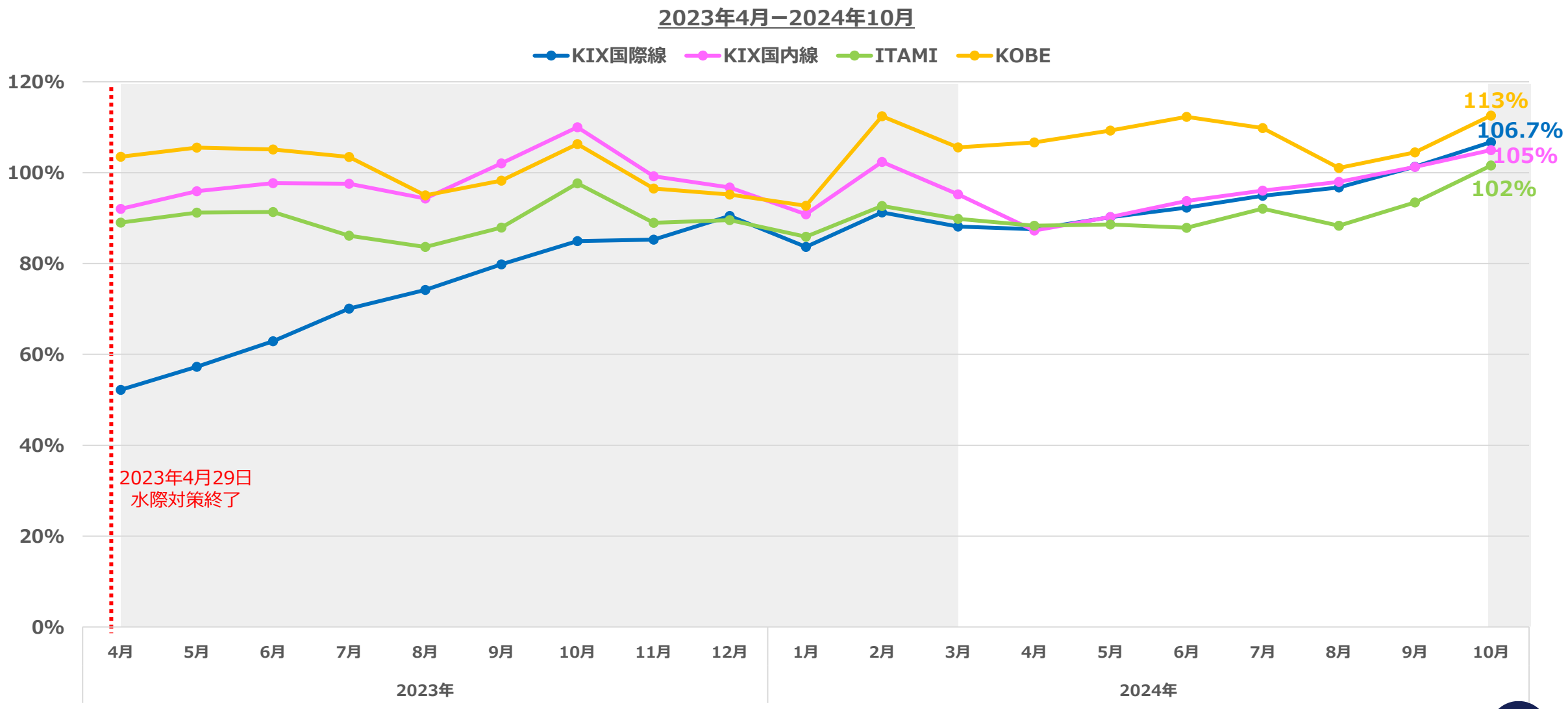


国際線旅客便　2024年4月-2024年9月
方面別発着回数 および2019年度比回復率

KANSAI AIRPORTS

＊ 2020年2、3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2024年2、3月は2019年比で記載

航空系：関西3空港　旅客数（2019年度比）



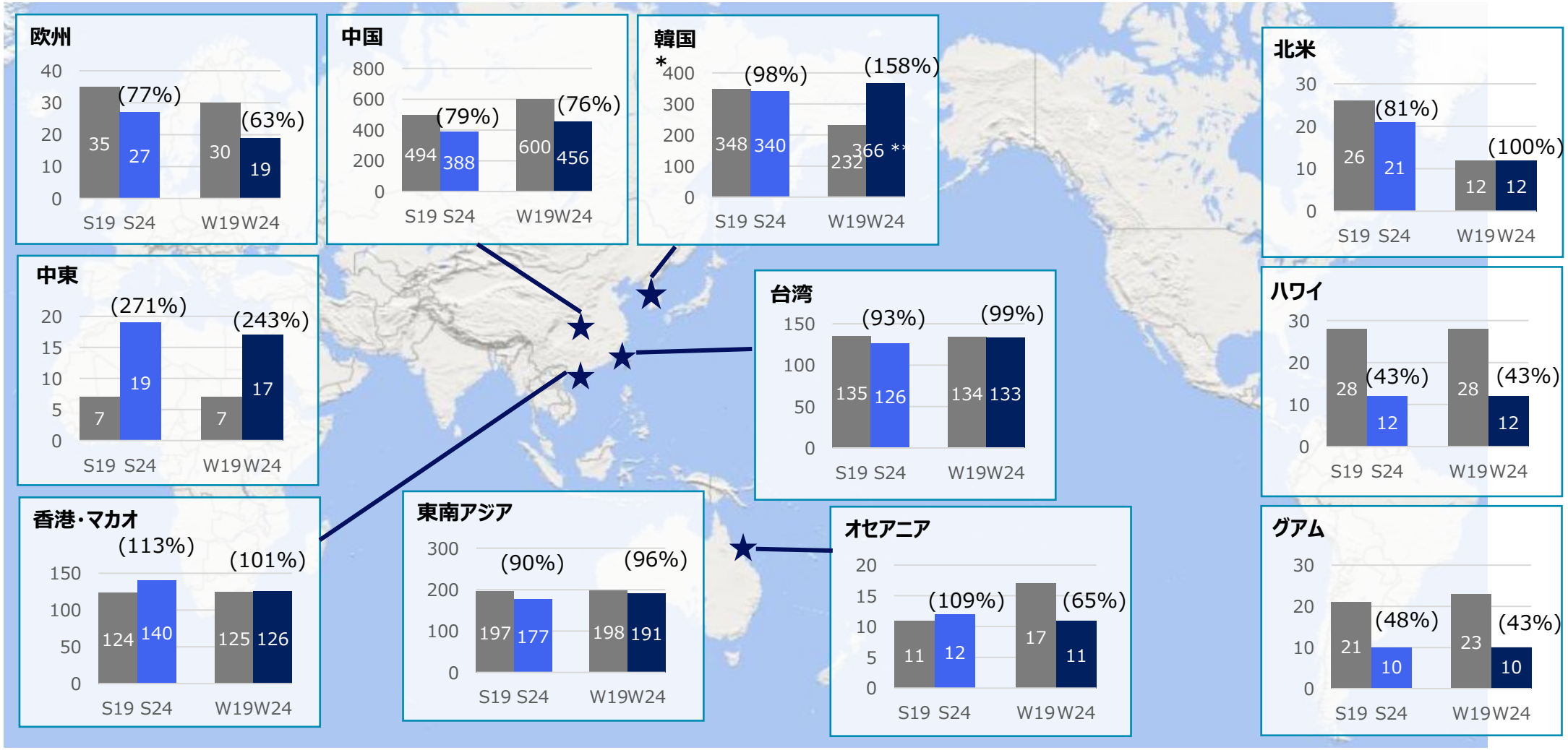
KANSAI AIRPORTS

＊ 2020年2、3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2024年2、3月は2019年比で記載

航空系：2024冬期スケジュール国際旅客定期便

- S24 は2024年夏期スケジュールにおける9/30現在のピーク便数（８月）
- W24 は2024年冬期スケジュールの3月の計画便数
- グラフ中（)内の数値は2019年夏期/冬期スケジュールとの同期比較の便数の回復率

W24：1,353便（W19比96%）62社 58地点 S24：1,274便（S19比89% ）63社 56地点

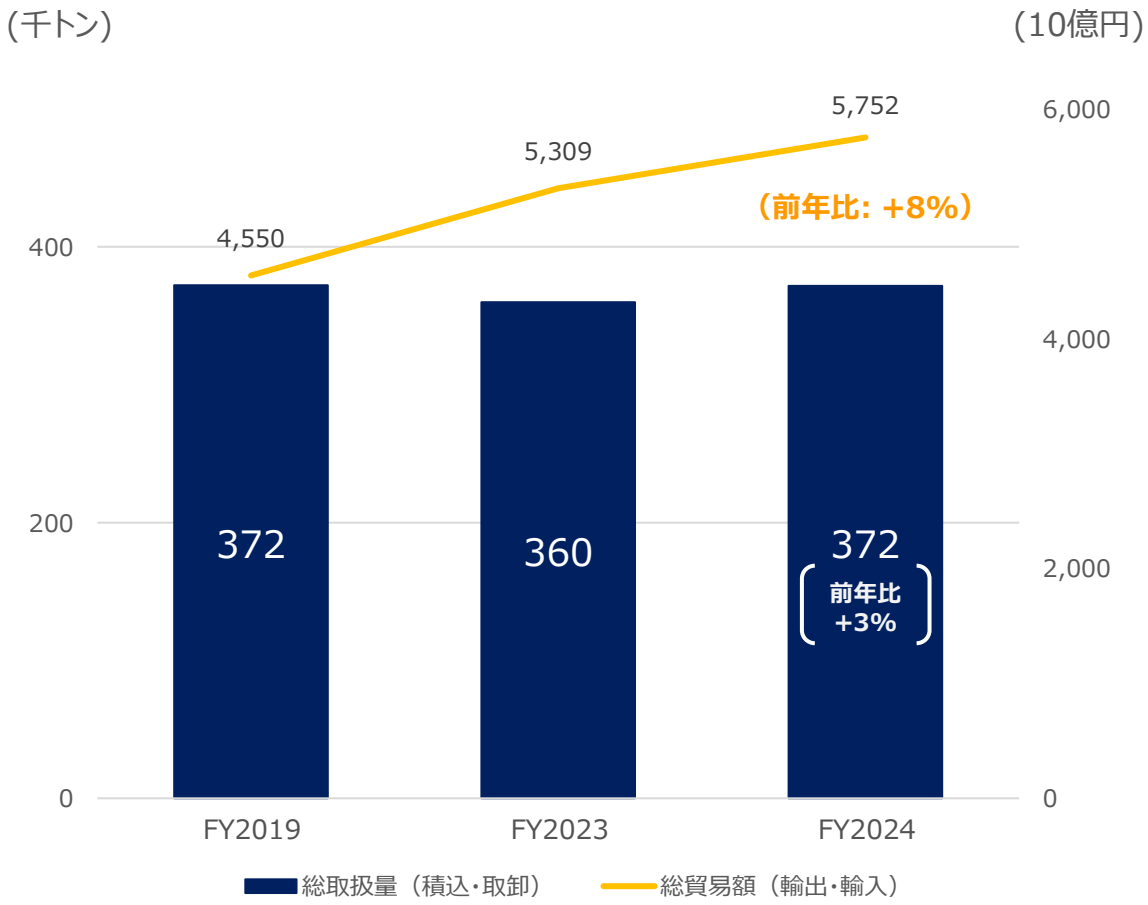


＊ 2019年冬期スケジュール実績は外交問題の影響により韓国方面の便数が落ち込んでいた。

＊＊ 週366便は開港以来過去最高。

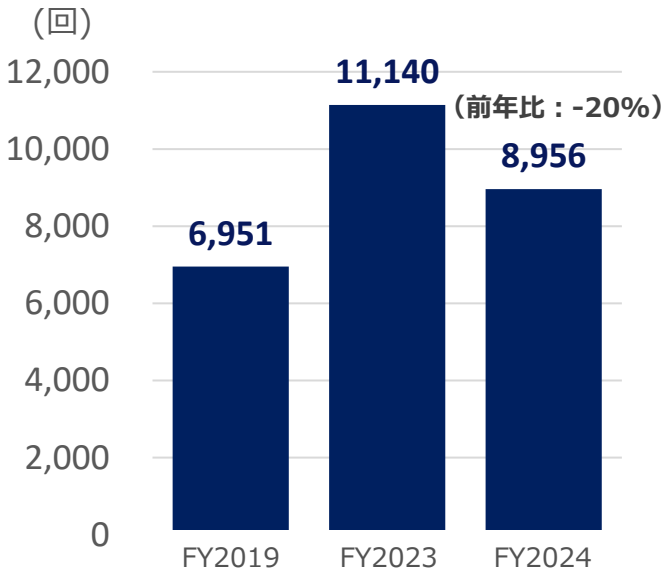
国際貨物：発着回数・貨物量・貿易額

KIX/国際線貨物量・貿易額

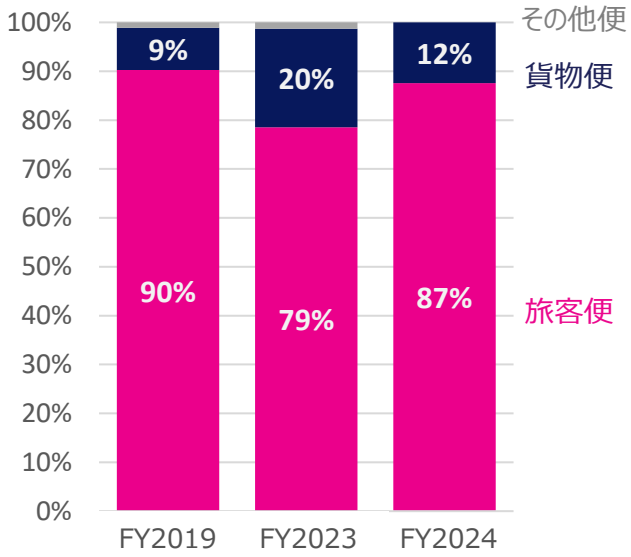


- 国際貨物取扱量は日本を含め、世界的に上向きな経済の影響を受けて、前年比でプラスとなった。貿易額についても右肩上がりの状況が続き、高付加価値な商品を輸送するニーズが高まっている。
- 国際貨物便については、国際旅客便の復便に伴い貨物輸送キャパシティが増加していることもあり、発着回数は減少しているが、コロナ禍前比では引き続き高い水準を維持している。
- ECサイトを通じた通販市場の急成長などの影響により、特に中国発日本向けのEコマース輸送需要は引き続き好調。また、半導体関連や自動車関連の輸送需要は底堅く一定の需要がある。

KIX/国際線貨物便発着回数



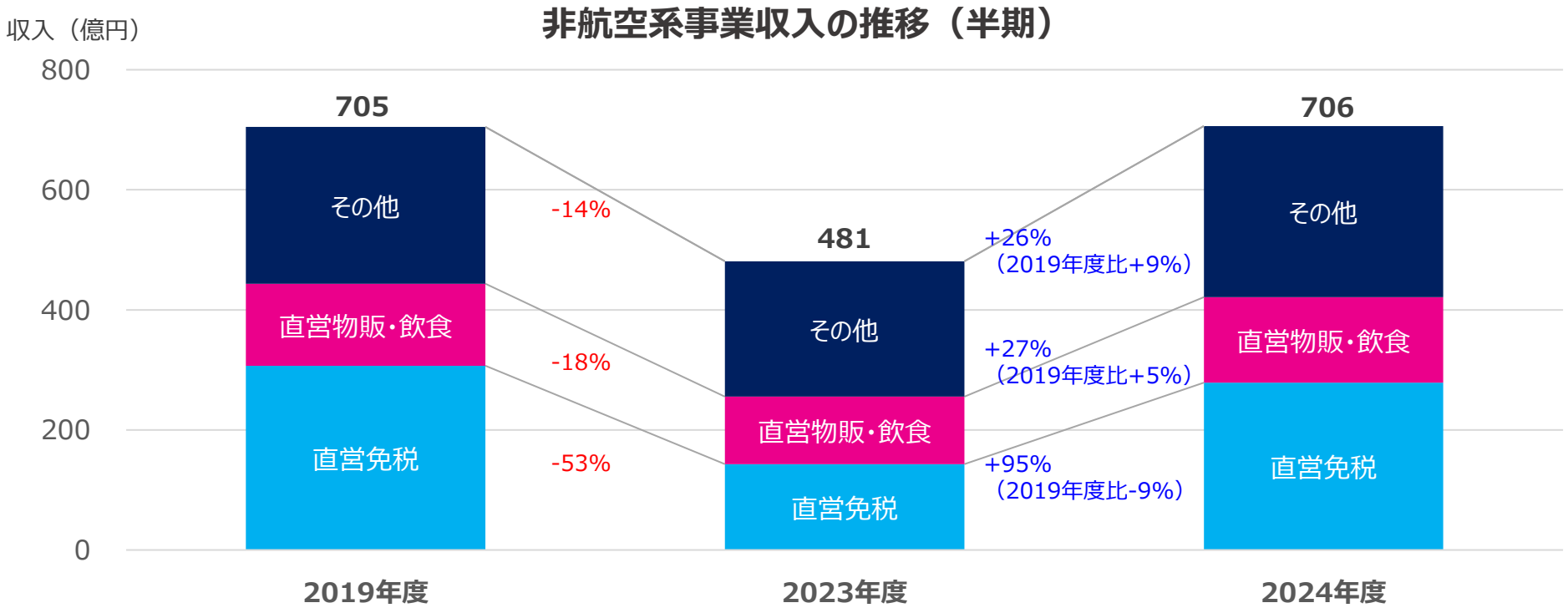
KIX/国際線発着回数シェア



*貿易額（税関発表）：2024年9月は速報値、2024年8月は輸出確報値、輸入9桁速報値
2024年各月分は確報値、2023年は確々報値、2022年以前は確定値

非航空系：新商業エリアの開業により上期収入が2019年度実績を超え、過去最高

- 2024年度上期の非航空系事業収入は2019年度実績を超え、過去最高となる706億円を記録
- 旅客数の回復に加え、2023年12月に開業した新国際線商業エリアが収入増加に大きく貢献
- リノベーション効果による旅客一人当たりの購買単価の向上や円安効果もあり、直営店舗・テナントが好調に推移し、店舗収入全体で増収



＊ その他：不動産関連収入、構内営業料収入、ホテル収入など
＊ 免税・物販・飲食は直営店舗収入

2024年度上期の主な取り組み

2024年度上期の主な取り組み

3空港

・関西3空港のLINE公式アカウントを開設（9/18）
・関西3空港で空の日イベントの実施を発表（9/21, 10/20, 11/9）

KIX

・SKYTRAX国際空港評価「World Airport Awards 2024」手荷物取扱い部門で世界1位！（4/19）
・藻場プロジェクトが「Green Airports Recognition 2024」でプラチナ賞を初受賞（5/23）
・T1リノベーション ４階国際線保安検査場先行オープン（9/3）

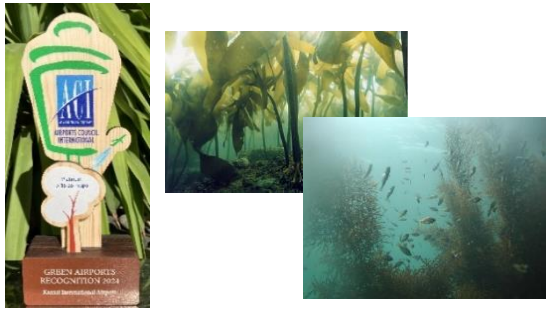
ITAMI

・ランウェイウォークを開催（7/6）
・「フォトウェディングプラン」第2弾！2024年8月より販売開始（8/20）

KOBE

・「神戸市の廃食用油回収促進に係る持続可能な社会の構築に向けた連携協定」を締結（6/28）
・夏休み早朝親子滑走路ウォークを開催（7/20）

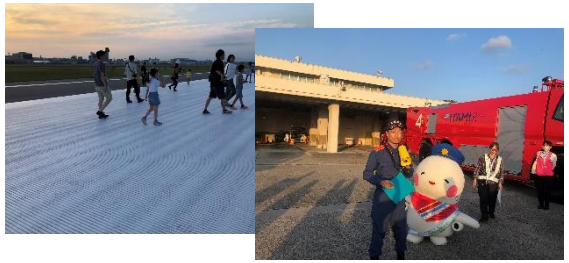
関西3空港のLINE公式アカウントを開設！



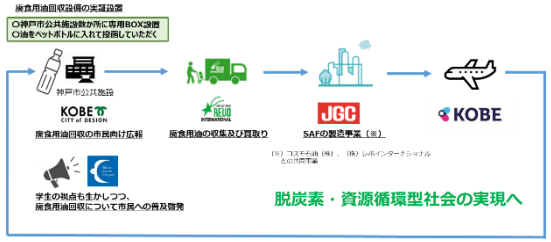
藻場プロジェクトが「Green Airports Recognition 2024」でプラチナ賞を初受賞

SKYTRAX国際空港評価「World Airport Awards 2024」手荷物取扱い部門で世界1位！

T1リノベーション ４階国際線保安検査場先行オープン



ITMランウェイウォークを開催



「神戸市の廃食用油回収促進に係る持続可能な社会の構築に向けた連携協定」を締結

関西国際空港　開港30周年　記念イベント

- **NHK WORLD JAPANの放送、周年WEBページの作成**

- **就航5社（JL、NH、MM、GK、MQ）による合同イベント**

- **ギブアウェイ配布**

- **南海「ラピート」・JR「はるか」特別セレモニー**